

20140918 大阪府市港湾委員会設置条例案などの賛成討論

私は、大阪維新の会・大阪市会議員団を代表いたしまして、建設消防委員会への、付託案件の議案、第 326 号、大阪府市／港湾委員会／設置条例案、乃至、議案第 329 号大阪府市／港湾審議会／共同設置に関する協議の 4 議案について、賛成の立場から、討論させていただきます。港の広域管理については府市統合の問題とは関係ない。

維新以外の、他の会派の皆様は、府市という名前が、ついているものには、アレルギーがあるようで、今回の「大阪府市港湾委員会」という、名前に、過剰に、反応されているように思います。

大阪府が管理する堺泉北港や阪南港と、大阪市が管理する大阪港は、すでに物流分野で役割分担ができており、大阪の港湾行政については、2 重行政による無駄というものは存在しないとのことですので、何か無駄を排除するという状況では、ありません。

港湾管理を、広域化する必要があること自体は、これまでの議論の中で、他の会派の皆様もご主張されており、異論のないところだと思います。

大阪港と神戸港を一元化し、阪神港として、他の港に対し戦えるものに、しなければ、港だけの問題ではなく、大阪経済の発展を阻害することに、なりかねないと考えます。

今回、維新外の会派の皆様は、本条例案に反対しておりますが、それでは、「現状のままでいい」「指をクワえて見ておくだけでいい」ということとなります。

目標は、第 2 ステップの神戸港・尼崎西宮芦屋港まで含めた港湾管理の一元化ですが、そのためには時間がかかる事態がおこるかもしれません。

その間にも、他の港、博多港や、舞鶴港に、顧客を奪われていくことになりかねません。今できることをすべきでないか。

したがって、大阪に今できることを、まず、しなければならぬと考えます。私の地元、住之江区では、南港を抱え、コンテナ車が住民の生活を脅かすような状態です。

物流の動線と住民の生活圏が交差しており、南港の南出口となる交差点では、毎日のように大渋滞が発生し、巻き込み事故などが発生しております。

一方で、住之江区の南側、大和川の対岸を見ると、堺泉北港が広がっており、まだまだ遊休地があるように見えます。

大阪南港に、コンテナバースをつくらなければならない。という事は、これまで、大阪地域の、大阪港(大阪南港・北港)の中でしか、港湾の戦略を考えてこなかったということが原因だと思います。

港湾管理を一元化することによって、いろんな課題はあるでしょうが、例えば、堺泉北港にコンテナバースを作ることも考えられるかもしれないじゃないでしょうか。

これまで、大阪北港、大阪南港だけで、港湾戦略を考えてきたものを、まずは、堺泉北港や阪南港まで含めた範囲で、様々なアイデアを練れるように、すべきではないでしょうか。

第2ステップともいうべき、神戸港も含めて一元化することが出来れば、さらに効果が期待できるのですが、今回の第1ステップ、大阪府市港湾委員会の共同設置により、大阪港、堺泉北港、阪南港の港湾管理一元化だけでも十分効果があると認識すべきです。

世界経済の動向は待ったなしです。港の戦略は、一朝一夕に出来るものではありません。すでに、周回遅れになっているかもしれません。「あともどりできない」としていると、さらに、遅れるかもしれません。

いまから、土台を大きくして、柔らかい頭で、戦略を考えるようにしなければなりません。そのためには、まずは、大阪府市の港湾管理の一元化を実現すべきであると考えます。

以上、建設消防委員会、付託案件の議案、第326号、大阪府市／港湾委員会設置条例案、乃至、329号について、賛成の立場から、討論させていただきました。

議員各位の、ご理解を賜りますよう、お願いいたしまして、賛成討論とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。